

vol.50 むきあう

2027年2月11日（木・祝）14：00開演

◆曲目

ベートーヴェン

ピアノと管楽のための五重奏曲 変ホ長調 op.16

シューベルト

八重奏曲 ヘ長調 D803



■出演

ヴァイオリン

小森谷 巧

ヴァイオリン

工藤 崇

ヴィオラ

川本 嘉子

チェロ

三宅 進

コントラバス

助川 龍

オーボエ

西沢 澄博

クラリネット

伊藤 圭

ファゴット

西口 真央

ホルン

山岸 博

ピアノ

三又 瑛子

Music from PaToNa 50回記念コンサート。

Music from PaToNaには初登場となる仙台フィルゲストコンサートマスターで、元読売日本交響楽団のコンサートマスターを務めた小森谷巧、NHK交響楽団元ヴァイオリン首席、そして名実ともに日本を代表するヴァイオリン奏者の川本嘉子、宮城県古川出身、NHK交響楽団首席を務める伊藤圭、読売日本交響楽団を経て、仙台フィルでも尚活躍するレジェンドホルン奏者山岸博、仙台出身で、多くの奏者が信頼を寄せるアンサンブルピアニスト三又瑛子、そして、若手期待の工藤崇、西口真央…これ以上ないほどのメンバーが揃います。

「むきあう」のは、ベートーヴェンとシューベルト。室内楽作品の中でも、何度演奏しても毎回難しい。ベートーヴェンは、vol.11「かたろう」でも演奏しましたが、メンバーも変わり新たなアプローチに挑みます。シューベルトの「八重奏曲」は、これは、Music from PaToNaが最後の時までとっておこう…とまで言われた大曲です。その長さはもちろん、どの奏者にもソロとして活躍する場面があり、どの楽章も美しい歌に充ちています。50回は、通過点に過ぎない…と思いますが、いつも今できる最大限の音楽を目指すMusic from PaToNa。名曲を名手とともに味わいながら、お客様と共に祝いできればうれしく思います。「ホールと創る音楽」の今までとこれから。節目に当たり思いを込めて、お届けします。